

※諸般の事情により、講師やプログラム内容・時間・順序等が変更になることがあります。

1. 基本情報

1) プログラム名:	大学生・大学院生向け国際協力実務講座
2) 担当者名:	荒井 英恵
3) 期間(日数):	2024年8月19日(月)~8月23日(金) 5日間
4) 定員:	30名程度
5) 言語:	日本語
6) 主な対象学生:	国際協力について関心があり、将来、開発途上国の援助に従事したいと希望する大学生・大学院生 専門分野は特に問わない。

2. コンテンツ

本プログラムの目的	国際協力実務経験者からの講義、国際協力や社会課題解決に深く関連したワークショップ等を通じて、以下の目的・期待を達成することを目指しています。 ●受講時の目的: 受講者が、国際協力を深く理解し、国際社会の課題に主体的に向き合い、ステークホルダーと対等なパートナーシップの下で取り組む意識を獲得すること ●受講後の期待: 受講者が、将来的に国際協力の担い手やグローバル人材として、持続可能な社会の構築に貢献すること
-----------	---

3. 日程表

1日目: 2024年8月19日(月)

オンライン

場所	時間	テーマ	講師等	ねらい
オンライン	10:00-11:00	主催者挨拶 オリエンテーション	JICA筑波 ジエールエム・インスティ チュート(GLMi)	●プログラムの目的・流れを理解する ●参加者の緊張を和らげる ●参加者が互いの背景や関心を把握する
	11:00-12:00	世界の課題とSDGs (途中 休憩10分)	JICA筑波	●国際社会で取り組むべき課題は幅広く複雑に関連し 合うことを理解する ●SDGsについて理解する ●現在における持続可能な社会の構築やSDGs達成への 寄与の重要性を理解する
	12:00-13:00	昼休憩		
	13:00-14:20	日本のODAとJICA事業の概要 (途中 休憩10分)	JICA筑波	●日本のODAの目的や仕組みを理解する ●JICAの事業・プロジェクトの流れを理解する
	14:20-14:40	休憩		
	14:40-16:00	国際協力の多様なアクターと仕事	JICA本部	●NGO・個人等の市民社会や民間企業も国際協力に取り 組む重要なアクターであることを理解する ●JICAがあらゆるアクターとの連携を構築し、発展さ せていることとその有効性を理解する ●国際協力でのキャリア形成を知る

2日目: 2024年8月20日(火)

オンライン

場所	時間	テーマ	講師等	ねらい
オンライン	10:00-10:30	前日の振り返り・シェアリング	GLMi	前日までに獲得した知識や経験を構造化する
	10:30-11:20	JICA職員の仕事	JICA在外事務所	JICAの計画・立案や調整を担う職員がどのような仕事 をしているのかを知る
	11:20-11:30	休憩		
	11:30-13:00	NGOのプロジェクトの具体的事例 (草の根技術協力事業)	国際協力NGO(調整中)	特定のNGOプロジェクトが何を指し、どのようなア プローチで課題を解決し、日々どのような仕事をして いるのかを知る
	13:00-14:00	昼休憩		
	14:00-14:20	JICAのNGO等への活動支援、草の根技術協力事 業について	JICA筑波	JICAのNGO等への活動支援や草の根技術協力事業の目 的・特徴等を知る
	14:20-14:40	休憩		
	14:40-16:10	JICAのプロジェクトと開発コンサルタントの仕 事の具体的事例	開発コンサルタント(調 整中)	特定のJICAプロジェクトが何を指し、どのようなア プローチで課題を解決し、日々どのような仕事をして いるのかを知る

場所	時間	テーマ	講師等	ねらい
JICA筑波	10:30-11:00	前日の振り返り・シェアリング	GLMi	前日までに獲得した知識や経験を構造化する
	11:00-12:00	研修事業の概要と具体的事例	JICA筑波 研修受託者（調整中）	●JICA本邦研修の概要を知る ●特定の研修コースが何を指し、どのような活動を行い、どのような内容を学んでいるのかを知る
	12:00-13:00	昼休憩		
	13:00-13:20	JICA民間連携事業の概要	JICA筑波	JICA民間連携事業の概要を知る
	13:20-14:20	JICA民間連携事業の具体的事例	民間企業（調整中）	特定の民間連携事業が何を指し、どのように製品・サービスを活用し、日々どのような仕事をしているのかを知る
	14:20-14:30	休憩		
	14:30-14:45	JICAボランティア事業の概要	JICA筑波	JICAボランティア事業の目的・応募方法等を知る
	14:45-16:15	JICAボランティア事業の具体的事例 (途中 休憩10分)	元JOCV隊員（調整中）	JICA海外協力隊の活動や帰国後の進路等を知る

場所	時間	テーマ	講師等	ねらい
JICA筑波	10:00-13:00	PCM（プロジェクト・サイクル・マネジメント）「計画・立案」体験研修① (途中 休憩10分程度)	開発コンサルタント（調整中）	●PCMに対する理解を確保する ●PDM全体の読み方とPOの重要性を理解する ●問題分析の手順・留意点を理解する ●目的分析の手順・留意点を理解する ※PCM手法の要点を体験的に学びます（以下同）
	13:00-14:00	昼休憩		
	14:00-16:00	PCM「計画・立案」体験研修② (途中 休憩10分程度)	同日午前参照	●プロジェクト選択の手順・留意点を理解する ●PDM要約・投入の手順・留意点を理解する
	16:00-17:00	プロジェクト案の共有・発表 (作成したプロジェクトの要約と投入)	同日午前参照	●国際協力プロジェクト立案のイメージを獲得する

場所	時間	テーマ	講師等	ねらい
JICA筑波	10:00-10:45	JICA筑波施設見学	JICA筑波	●研修員受入事業とJICA筑波の業務を理解する ●本邦研修の活動事例を知る
	10:45-11:00	休憩		
	11:00-12:30	キャリア相談会	JICA筑波職員等	●国際協力分野の仕事の種類や必要な能力・経験・スキル、キャリアパスの例等を知る ●キャリアについて相談する機会を得る
	12:30-14:00	研修員とのランチ会	JICA筑波 JICA研修員	●研修員の出身国や本人の業務・研究について知る ●研修員と意見を交換する・交流する
	14:00-15:30	プロジェクトのモニタリング体験ワークショップ	開発コンサルタント（調整中）	プロジェクト現場で直面しうる業務・活動上の課題、原因の探り方の一例を知り、解決策を検討するイメージを獲得する
	15:30-15:40	休憩		
	15:40-16:40	最終の振り返り・シェアリング(キャリアや将来像)	GLMi	率直な感想に加えて、以下を例に将来に向けた意識について他の参加者と共有する。 ●どのような形で国際協力あるいは社会課題解決に関わりたいか ●（自身が関わりたい形の）国際協力や社会課題解決では、どのような知識・能力が必要とされるのか ●（自身が携わりたい）アクターで活躍するためには何を準備すればよいのか
	16:40-17:00	閉会の言葉 事務連絡・アンケート回答	JICA筑波 GLMi	

3. 留意事項

- 国際協力に関する基礎的な知識を得ると共に、国際協力の実務について学べる内容となっています。
- ディスカッション、ワークショップなど参加型のセッションでは、積極的に参加する姿勢を求めます。
- 原則、全日程の出席が必要となります。（オンラインでの参加の際は、ネットアクセス可能な範囲で。）
- 発熱、咳・咽頭痛・息苦しさなどの風邪症状がある場合、体調がすぐれない方、味覚、嗅覚異常、疲労感や倦怠感を強く感じる方は参加をご遠慮ください。

4. 学生さんへ一言

将来、国際協力に関わりたい、グローバルな環境で仕事がしたい、社会に貢献できるキャリアを重視したいなど、積極的な学生の参加を歓迎します。

授業で学ぶ国際協力以外にも現場レベルでの国際協力の取り組みについて学びたいと考える人にお勧めです。